



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2006-2007年度RI会長  
ウィリアムB. ボイド



率先しよう  
LEAD THE WAY

2006～07年度 第2590地区ガバナー 齊藤 二郎

会長	小池 将夫	副会長	大西 弘文
副会長	清水 勇一	会長エレクト	吉田 隆男
幹事	渡邊 淳	クラブ会報	植田 清司
S A A	鈴木 武	会計	館野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

【クラブテーマ】  
明日の為に・一つの心で



2006-07年度 第5号週報NO.1471  
2006年(平成18年)8月6日第1471回例会記録8月11日発行

司会 加藤 仁昭 副幹事

点鐘 小池 将夫 会長

### ゲスト紹介

張 蕾 様 (米山学友生)

### 出席報告

会員総数	65名	(48名+17)名
出席会員数	32名	(27名+5)名
出席率	56.25%	
ゲスト	1名	ビジター 3名
前回補正後	95.83%	前回々補正後 95.83%

### 卓話

## 会長挨拶

### 夏の家族会 (移動例会)

皆様ようこそ神奈川東ロータリークラブの夏の家族会において下さいました。クルージングに参加された皆様、真夏の焼けたコンクリートの陸を離れて、会員所有のクルーザーに乗って、潮風を全身に受けて東京湾を疾走したご気分は如何でしたか。また、船には乗りませんでしたアウトレットを散策された皆様は何か良い買物が出来ましたでしょうか。

### 会長挨拶



私たちのクラブは「明日の為に・一つの心で」をクラブテーマにこの7月に新年度の活動をスタートをいたしました。誕生より30周年が過ぎた私たちのクラブが次の節目を迎える時に今以上の魅力的なクラブになっている為には、この一年の運営が

### 本日《8月11日》のプログラム

- ◆齊唱 君が代・奉仕の理想
- ◆献立 そうめん御膳
- ◆卓話 「新たな駐車対策法制の概要について」  
神奈川警察本部警視 怒田 伸行 様  
紹介者 角田 伯雄 会員

非常に大きく影響するものと考えています。そのためには会員が「一つの心」でクラブの将来の為に力を合わせることが出来るようなクラブの雰囲気づくり・魅力づくりが大切だと思い、親睦委員会の皆様にはご負担をおかけしますが年三回の家族会の企画をお願い致しました。最初の企画が本日の夏の家族会です。船の提供をはじめさまざまのご協力をいただき今回の家族会が開催出来ましたこと、関係の皆様には心より厚く御礼を申し上げます。そして今日ご参加のご家族の皆様には最後まで十分にお楽しみを頂きたいと思っております。有難うございました。

会員・会員家族の皆さん70名が参加され、楽しい「夏の家族会」が盛大に開催されました。

日程	
13:00	ホテルキャメロットジャパン出発
13:45	ベイサイドマリーナ到着
14:00	第1回クルージング
15:30	第2回クルージング
18:00	移動例会・懇親会 (ベイサイドマリーナ内レストラン シーポートストリート)
20:15	ベイサイド出発
21:00	キャメロット到着・解散

尾島艇ビルゴ号でのクルージングを楽しむ



ビルゴ号の船内で乾杯



会長より本日の船長を紹介 鴻義久会員・尾島俊一会員



同船上で



鴻艇バジェーナブランカ号でのクルージングを楽しむ



須永艇 マコ号



レストラン・シーポートストリートにて懇親会





ビンゴゲームで会場はさらに盛り上がりました



## ◆◆◆◆◆ 今月の表紙の写真 ◆◆◆◆◆

只今、花火大会が各地で行われています。

小池会長より写真提供いただきました。(神奈川県にて撮影)  
**日本の花火の起源**

日本の花火の起源は、1543年、種子島にポルトガル人が来航し、鉄砲を伝えた事から始まった。その鉄砲を解体して、花火の製法等を研究したといえます。戦国時代に武器として使われた花火は、江戸時代に入ると、娯楽としての「花火」に使われるようになった。

その後、鍵屋・玉屋による両国川開きなどで有名な江戸のほか、三河・信州・越後などを中心に花火は大変盛んになってきました。

これら江戸時代の花火の色は、暗い炭火色一色のみ（和火と呼ぶ）で表現された。

現在のようなカラフルな明るい色の花火（洋火と呼ぶ）は、文明開化の地「横浜」に大きな関わりがあります。

### 横浜の花火の歴史

明治7年頃、横浜太田町に、平山甚太が煙火工場を開業、横浜にマッチの原料として塩素カリウムが輸入され、これを機に日本の色付花火（洋火）の研究が始まる。

明治10年11月3日 平山煙火により横浜公園で日本初の西洋花火大会が開催された。

明治12年9月2日 前アメリカ大統領グラントが横浜から帰国する際に平山が盛大な花火を打ち上げた。

この後、平山の「横浜花火」は、欧米へ輸出されるようになる。

昭和初期 山田煙火店（屋号・横浜山田の花火）が営業

昭和24年7月12日 第一回ミナト・ヨコハマ花火大会開催

昭和31年7月20日 第一回横浜みなと祭国際花火大会開催（山下公園）

昭和50年 金沢まつり花火大会

昭和58年 第一回鶴見川花火大会（平成11年を最後に終了）

昭和60年8月1日 第一回神奈川新聞花火大会開催

## ◆◆◆◆◆ 担当者より ◆◆◆◆◆

会報委員長 植田 清司

花火大会も7月中旬から8月中旬が主ですが、まだこれから行なわれる大会は次のとおりです。

8月15日 第40回三崎みなと祭花火大会（三崎漁港）

8月19日 川崎市制記念多摩川花火大会（第三京浜・国道246号間）

8月20日 鶴見川いかだフェスティバル 鶴見川花火大会（佃野公園付近）

8月26日 第32回金沢まつり花火大会（海の公園）

夏の夜空にくりひろげられる光りの芸術 まだまだ楽しめます。

次回《8月25日》の卓話予定

「横浜市政の概要と将来像」

横浜市議員 福田 進 様

紹介者 角田 伯雄 会員